

(教育長答弁)

寺井議員 1001 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 「1人1台のパソコン端末」の配備により、「個別最適な学び」が GIGA スクール構想に大切な価値観として存在しているが、教育委員会として、今後どのように進めていきたいのか。

---

### 答弁要旨

ICT 環境整備を進めるにあたり、学習指導要領の趣旨が十分に生かされるように、ICT 環境を最大限に活用し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」を一体的に充実していくことが重要であり、ICT を活用することは、知識及び技能の習得のみならず、学習状況を他の児童生徒と共有したり、学びの振り返りをしたりする際の有効な手段となります。

(次ページへ続く)

教育委員会といたしましては、児童生徒が、ICTの活用を特別なことではなく、当たり前のことのように活用できる環境を整えるとともに、ICTを活用する授業をデザインしていくことが大切だと考えております。

今後も学校教育の中で、各教科等の特質に応じ、児童生徒の実情を踏まえながら、ICTを活用し、「個別最適な学び」や「協働的な学び」を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に繋げ、児童生徒が未来を生きるための資質能力を身に付けられる環境の実現を目指してまいります。

以 上

(東教育次長答弁)

寺井議員 1002 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 学校教育において不登校対策は大きな課題  
ではありますが、本市の不登校児童生徒数の現状と推  
移について教えてください。

---

答弁要旨

不登校児童生徒の増加は全国的な傾向であり、本市  
におきましても、平成30年度674人、令和元年度748  
人、令和2年度807人と、増加傾向が続いております。

以 上

質問要旨 IT 分野の先進事例を研究し事業化していくことが必要と考えられるが、どのような体制で進めていくのか。進めていかないのかの所見について

---

答弁要旨

ITを活用したサービスの充実や効率化が、各分野で近年飛躍的に進行しています。

そうしたなか、本市では、情報政策課が IT 事業者の講演会に参加したり、先進自治体との情報交換や意見交換を行うなど、本市に有益なIT化について調査、研究を行い、全庁的な部分は情報政策課が中心となり、個別事業に係る部分は、情報政策課が事業所管課をサポートするなど、連携してIT化を進めているところです。

急速に進展する情報技術の中から、真に必要なものを取捨選択することが一層重要になると認識しており、今後も情報政策課が庁内各課と連携を深め、本市にとって有効な IT 化を進めてまいります。

以上

質問要旨 赤字団体への指導と、指導後の対応の評価  
はどのように行われているのか。

---

答弁要旨

外郭団体等につきましては、毎年、財務諸表の提出を求めているところであり、特に著しい経営状況の悪化の兆候が見られた際には、各外郭団体等やその所管局と連携し、経営状況悪化の原因の洗い出し、経営改善のための方策の検討・実施、必要に応じて財政的支援に取り組んでいるところです。

また、これらに取り組んだ後につきましても、毎年の財務諸表や各外郭団体等とのヒアリングを通じて、適宜進捗状況などを評価しております。

以上

(東教育次長答弁)

寺井議員 2001 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 板書内容をキーボードでの入力や写真によって端末に記録したい等の子どもに対して、学校現場としてどのように対応しているのか。

---

### 答弁要旨

学習者用端末は、調べ学習やグループ学習、また、授業や家庭においてドリル学習等に活用しております。

教育委員会といたしましては、板書内容の記録について、児童生徒がノートに記録することやまとめることなど、書く能力を育むために必要であると認識しております。

しかしながら、様々な事情によりノートに記録することに課題をもつ児童生徒など、合理的配慮が必要である場合は、例えば端末に記録するなど個に応じた対応を各校で行っております。

以上

(東教育次長答弁)

寺井議員 2002 作成部局 教育委員会事務局 No. 1

質問要旨 有益だと判定される特定のYouTuberの動画に限り、申請制で個別に視聴できる仕組みを検討すべきでは。

---

### 答弁要旨

インターネット利用に際して、児童生徒が、有害な情報が含まれるサイトを利用しないよう、フィルタリングを設定しております。なお、学習に有益なものとして学校が判断したものについては、学校からの申請に基づき、現場の代表者を交えた「GIGAスクール検討会議」において検討し、解除していく運用としております。

議員ご指摘のYouTubeチャンネルにつきましても、同様の手続きに基づき、解除するかどうかを判断していくこととなります。

以上

(東教育次長答弁)

寺井議員 2003 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 市内で、指導要録上出席扱いとなるフリースクールは何施設あるか。フリースクールをどうとらえているか。方向性はいかがか。

---

答弁要旨

学校以外のフリースクール等の民間施設へ通った場合の出席扱いについては、不登校児童生徒の状況やフリースクール等の支援状況等を当該の学校長が把握し、出席扱いの判断を行うものです。

今年度、市内で指導要録上出席扱いされているフリースクールは3施設です。

また、フリースクールについては、「教育の機会の確保等に関する基本指針」の中で、「民間の団体の連携等による支援」が示されていることから、本市においても、民間の柔軟で特色ある取組と連携することが必要であると考えております。

(次ページに続く)

そこで、「民間通所施設の認定」に係るガイドラインを作成するとともに、「不登校支援団体ネットワーク会議」を開催するなど、積極的に公的支援と民間支援を連携・拡充させ、個々の不登校児童生徒の状況に有効・適切な支援が行えるよう環境を整備していくことが重要であると認識しております。

以上

(東教育次長答弁)

寺井議員 2004 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 不登校児童へ配布されたタブレットを、教育支援室や家庭にも持ち帰らせ、自由に勉学に使用してもらうべきだと考えるが、いかがか。

---

### 答弁要旨

GIGAスクール構想によって個別最適な学びが急速に加速するなか、現在市内各学校においても、授業等で積極的にタブレットを利活用しているところでございます。

議員ご指摘の不登校児童生徒のタブレットを活用した家庭学習につきましては、各校において、不登校児童生徒の特性を鑑み、端末を持ち帰るルールを作成する等、それぞれの実情に応じて対応しているところでございます。

また、教育支援室においては、個々の通級児童生徒の状況により、学校で配布されたタブレットや教育支援室内の端末、通級児童生徒が所持する端末等を利用して、オンライン学習や学校の学習に参加するケースもございます。

(次ページに続く)

教育委員会といたしましても、個別最適化の学びを支援するべく学習支援ドリルを引き続き導入し、不登校児童生徒も含め、多様な児童生徒の実態に即した学習支援が行えるよう、環境整備に努めてまいります。

以上

質問要旨 阪神タイガース二軍球場を南部活性化の目

玉として、阪神タイガースと連携し、効果のある先進事例(maruGOT)なども検討に入れていただけないか。

---

### 答弁要旨

本市は、小田南公園での阪神タイガースファーム施設の整備にあわせて、阪神大物駅周辺における公園・緑地の一体的な再整備を行うことで、尼崎城や歴史博物館などの周辺施設や商店街とも連携する事業を実施していくことや、大物駅や杭瀬駅だけではなく、阪神尼崎駅まで周遊できるルートの設定を行うことで、観光振興や地域経済の活性化に繋げてまいりたいと考えております。

なお、議員ご提案の「maruGOT」事業につきましては、観光施設と地域通貨を連携する仕組みであり、西宮市で実証実験が実施されたとお聞きしております。

(次ページに続く)

本市におきましては、地域通貨である「あま咲きコイン」の利用拡大と、地域に根差した持続可能な仕組みづくりに取り組んでいるとともに、大阪観光局と連携してきた経緯もあることから、「maruGOT」そのものではありませんが、同様の効果を目指した事業のあり方については今後も検討してまいりたいと考えております。

以上

(梅山教育次長答弁)

寺井議員 2007 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 シティスポーツクラブ尼崎(WOODY)の赤字  
は何年続き、その補填はどう行われているのか。

---

答弁要旨

シティスポーツクラブ尼崎(WOODY)につきましては、市民のスポーツクラブに対するニーズの高まりを受け、低廉な料金による運営を目指し、市の支援のもと、事業団により昭和63年に設置された施設でございます。

近年、阪急武庫之荘駅を中心として民間の類似施設が相次いで建設され、競争が激化していることから、会員数とともに収益が減少し、平成16年度から赤字が続いております。特に、令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大幅な会員数の減少により、更に赤字が拡大している状況にあります。

なお、これまで土地造成に係る補助や公園使用料の減免などを実施していた経過はありますが、現在、当該施設に係る市からの補助はありません。WOODYの赤字につきましては、事業団の会計の中で対応されております。

以上

(梅山教育次長答弁)

寺井議員 2008 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 抜本的に経営改善を行う必要があると考え  
るが、誰が主体的に改善を行っていくのか。

---

答弁要旨

シティスポーツクラブ尼崎(WOODY)につきましては、  
スポーツ振興事業団が所有、運営する施設であること  
から、事業団が、理事会や評議員会の議論を経て、主  
体的に経営改善を行うものと認識しております。

しかしながら、事業団は、市と一体的あるいは市に代  
わって、市の施策を推進していく団体として位置付けら  
れておりますことから、パートナーである市といたしまし  
ても、経営改善など積極的に関与してまいりたいと考え  
ております。

以上

(梅山教育次長答弁)

寺井議員 2009 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 厳しい経営状況が続いているなら、民間企業から経営者を誘致して再建を目指すべきではないか。

---

答弁要旨

シティスポーツクラブ尼崎(WOODY)につきましては、昨年度に市と事業団が協議し、令和3年度から5年度の3年間で、コロナ前の会員数に戻すべく、様々な取組みを行っているところでございます。

今年度に入り、会員数の回復傾向はみられるものの、当初目標からは乖離が見られ、依然経営状況は厳しいものとなっております。

このようなことから、現在、教育委員会をはじめ企業経営者、弁護士、学識経験者、公認会計士などで構成される理事会や評議員会においても WOODY の存廃も含めて、明確な方向性を示すべく検討しているところでございます。

つきましては、民間企業から経営者を招へいする予定はございませんが、教育委員会といたしましても引き続き、事業団とともに、できるだけ早期の経営判断を行っていくよう取り組んでまいります。 (以上)